

これまでの検討状況

< H 2 4 地域懇談会における検討状況の報告 >

H 2 4 地域懇談会における検討状況の報告

1 各池の基本方針(案)

各池の特徴から、各池の基本方針(案)を策定した。

	各池の特徴		基本方針(案)	利用のイメージ
A池	<ul style="list-style-type: none"> ・広く、細長い ・高校、住宅地に隣接し、様々な利用者が想定される ・管理棟に隣接・自然が豊か ・背後の土地が土地区画整理事業予定地 【2次池底面積: 25,600 m ² 】		<ul style="list-style-type: none"> ・池の広さを活かし、様々な利用者が自由に使う場所とする 	「様々な活動の空間」
B池	<ul style="list-style-type: none"> ・囲まれ感がある ・まとまった広さが必要な活動は困難 ・住宅地や管理棟に隣接 ・対岸は土地区画整理事業予定地 【2次池底面積: 7,600 m ² 】		<ul style="list-style-type: none"> ・排水施設や一次池を活かすことが出来る施設を導入する 	「水と親しみ、憩う空間」
C池	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった広さが必要な活動が可能 ・住宅地に隣接 ・対岸は土地区画整理事業予定地 【2次池底面積: 16,200 m ² 】		<ul style="list-style-type: none"> ・整形な形状を活かすことが出来る施設を導入する 	「活発なスポーツ利用空間」
D池	<ul style="list-style-type: none"> ・囲まれ感がある ・まとまった広さが必要な活動は困難 ・高齢者世代の利用が想定される ・他の池から独立 ・対岸は土地区画整理事業予定地 【2次池底面積: 9,000 m ² 】		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世代の利用を考慮し、複雑な形状の池でも対応できる施設を導入する 	「憩いや休息の「庭」空間」

(A池 下流方向)



(A池 上流方向)



(B池)



(C池)



(D池)



2 導入施設の整備方針(案)

地域懇談会ので、施設に関する意見をもとに、各施設の整備方針(案)を取りまとめた。

施設の内容	意見	意見の総括	課題	方針
ジョギング・ウォーキング・散歩コース	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者健康維持 緑の回遊路 緑道を繋げる 	第2回 <u>安全で心地よいコース設定</u>	<ul style="list-style-type: none"> 周回コースの設定 安全で心地よい歩行空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 池内のコース及び管理用通路を活用したコースを整備する 安全で緑豊かな回遊コースとする
サイクリングロード	<ul style="list-style-type: none"> 池内及び管理用通路に設定 安全な動線の設定が必要 	第3回	広域の計画と連携し、引地川沿いの連続したコース設定が必要なため、管理用通路(遊歩道)の活用例に留める。	
	<ul style="list-style-type: none"> 広域の計画と連携して設定 管理用通路に設定 安全な動線の設定が必要 	第3回		
サッカー場	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ場が身近でない(グラウンドの取り合いになる状況) 芝のグラウンド 	第2回	多目的広場の活用例	
	<ul style="list-style-type: none"> 多目的に利用できるが、必要な広さがある程度決まっている種目に対応 	第3回		
野球場	<ul style="list-style-type: none"> 少年・軟式野球に対応 マウンドを作らなくてもよい 	第2回	多目的広場の活用例	
	<ul style="list-style-type: none"> 多目的に利用できるが、必要な広さがある程度決まっている種目に対応 	第3回		
パークゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者スポーツへの対応 	第2回	多目的広場の活用例	
兼用スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> 場の提供が必要 移動式の設備で対応 	第2回	常設設備と可動式により対応する設備の区分	<ul style="list-style-type: none"> サッカー、野球を行う空間を確保する 土の広場とする 移動式設備により、様々なスポーツに対応する
		第3回		
多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> 芝生 必要 維持管理費が高い 施設は必要無い 花の植栽 	第2回	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動に対応した空間の整備 ニュースポーツや生涯スポーツへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な施設は設けない 芝生の広場と土の広場を設ける ペタンク、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフの利用を想定する
市民農園	<ul style="list-style-type: none"> 周辺住民が利用する 利用者に清掃の協力を仰ぐ 季節の花の農園 	第2回	冠水時の補償問題等を懸念し、整備しないこととした。	
ピオトープ・自然観察園	<ul style="list-style-type: none"> 虫の発生増 近隣の理解が必要 子供が自然とふれあえる場 	第2回	自然とふれあう空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 自然とのふれあいの場として、立入り可能な空間とする 地下水を活用する
	<ul style="list-style-type: none"> 立ち入り可能とする 管理体制は、来年度以降にて検討 	第3回		
親水空間	<ul style="list-style-type: none"> きれいな水が必要 水とふれあえる場 	第3回	<ul style="list-style-type: none"> きれいな水とふれあえる場としての空間整備 水の確保 	<ul style="list-style-type: none"> きれいな水とふれあえる場とする 地下水を活用する
トイレ・手洗場	<ul style="list-style-type: none"> 地下水利用による水道代の節約 	第2回	冠水しない場所への設置	<ul style="list-style-type: none"> 冠水しない位置に整備する
	<ul style="list-style-type: none"> 冠水しない位置に配置 下水道との連携 	第3回		
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 交通量、駐車場が課題 	第2回	利用しやすい位置へ適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> 各池に整備する
	<ul style="list-style-type: none"> 各池に配置 	第3回		
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 草刈り道具の収納 	第2回	冠水しない場所への設置	<ul style="list-style-type: none"> 冠水しない位置に整備する
	<ul style="list-style-type: none"> 冠水しない位置に配置 	第3回		

下土棚遊水地上部利用計画（素案）

長後・湘南台地区の水と緑の拠点づくりに向けて



(仮称) 下土棚遊水地上部利用計画（素案）
モーニング図

<各池の整備イメージ>

A池 利用方針：池の広さを活かし、様々な利用者が自由に使う場所とする
イメージ：様々な活動の空間

- 活動グラウンド、活動芝生広場、憩い広場を整備する
- 3種類の空間を分割するように園路を整備する
- イベントへの利用を想定する

●利用の例
ジョギング・ウォーキングコース、ベタンク、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、多目的広場、イベント、休憩、軽微な運動 etc

B池 利用方針：囲まれ感を活かすことが出来る施設を導入する
イメージ：水と親しみ、憩う空間

- 子供たちが自然（水や植物）にふれられる空間とする
- 住宅地に近い側は公園的な「親水広場」とし、一次池側は自然的な「湿性観察園」とする
- 親水広場では湧水を利用し、子どもたちが水遊びをすることができる空間とする
- 湿性観察園にはボードウォークを設置し、生物観察や学習の場として活用する

●利用の例
親水公園、生物観察・学習、休憩、生物生育空間（立入制限） etc

C池 利用方針：整形な形状を活かすことが出来る施設を導入する
イメージ：活発なスポーツ利用空間

- 少年野球、少年サッカーに必要な広さを確保する
- 野球、サッカー以外の運動にも利用する
- 舗装は、土を基本とする
- 一次池は、ボールが入っても支障がないよう、平常時は水を溜めないこととする
- サッカーゴールや野球のバックネット等は、移動式の設備により対応する

●利用の例
野球、サッカー、各種運動 etc

D池 利用方針：高齢者世代の利用を考慮するとともに、複雑な形状の池でも対応できる施設を導入する
イメージ：憩いや休息の「庭」空間

- 高齢者の利用を想定し、休憩施設やお散歩コースなど配置した「庭」のような憩いの空間とする
- 周辺住民や福祉施設からの要望があれば、地域の緑化活動の場として活用する

●利用の例
休憩施設、散歩コース、緑化活動（花壇など） etc

